

“5歳までの教育環境が我が子の将来を決める”をテーマに、【未来への幸福ナビ特別部会】(プロジェクト)を開発。よって、好ましい幼児教育環境の創出を目指す(キャンペーン等の展開)。  
**未来への幸福ナビ=エビデンスに基づく幼児教育は子どもの未来を幸福へと導くナビゲーターの意**

### 立案背景

#### 保護者の認識不足

●「5歳までの教育環境が我が子の将来を決める」と言われるほど大切な「幼児教育」。しかしながら幼児教育に対する保護者の認識不足は否めない。園選択のアンケートで「園までのアクセス」(第1位)等、親の都合に合わせた回答が上位を占める結果になったことはショッキングでさえない。  
 (保育の質に関するアンケート結果/2022年日本総研)  
 ●親の都合が優先している現状。“VUCAの時代”を生き抜かなければならない子どもの将来を、正しく見据えていない保護者が多いように思われる。  
 (我が家の教育観の欠如)

#### 幼児教育の評価の低さ

●近年、少子化問題や子育て支援といった福利厚生面の政策に力点が置かれることで、幼児教育に対する評価が低下しているように思われる。  
 ●それに伴い、国や自治体の幼児教育に対する予算も限定的と言わざるをえない。  
 ●また幼児教育と保育サービスの違いが曖昧になり、各々の特性が正しく評価されにくい状況が生じつつある。

#### 科学的根拠(エビデンス)が示す幼児教育の重要性

●文科省は令和6年度に、ペリー就学前プロジェクト的な「幼児教育に関する大規模縦断調査」をスタートさせ、幼児教育の大切さを裏付けるためのエビデンス作りに着手。  
 ●それにより、幼児教育のEBPM(証拠に基づく政策立案)が形成されて行くものと期待される。

#### 連合会の役割と使命

●幼児教育の大切さについての情報発信が極めて乏しく(全国的脆弱)、また各園個別の努力にも限界がある現状を踏まえ、広く福島県民(特に乳幼児をもつ保護者)に対し、幼児教育の大切さを啓蒙するための情報を発信することは連合会が担う重要な役割であり、今こそやるべき使命と考える。

### 実施方法

#### 「未来への幸福ナビ特別部会」の開設

幸福ナビレポートの作成 媒体での情報発信

エビデンスに基づく「幼児教育」の大切さを解説するレポート(連合会オリジナルで作成)をまとめ、「幸福ナビレポート」として広く県民への発信を担う特別部会(プロジェクト)を開発する。



“ご存知ですか?”と質問を投げかけることで保護者の関心を喚起。その関心に添う形で、親なら知っておきたい幼児教育の大切さを解説して行く。

ご存知ですか?ペリー就学前プロジェクト  
 ご存知ですか?質の高い幼児教育とは  
 ご存知ですか?幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿  
 ご存知ですか?非認知能力  
 ご存知ですか?社会を生き抜く力  
 ご存知ですか?オープンエンドの遊び etc.

媒体の選定と展開  
 \*予算・規模・期間の検討

①テレビCMの制作と放映

②2次媒体の選定と展開  
 案1・案2・案3・etc



テレビCMでアテンションを獲得して興味を抱かせ、次の行動へと促す。  
 ACジャパン(公共広告機構)風の表現で公共性を感じさせるCMとする。  
 ●実施強化期間案  
 毎年8月~10月(3ヶ月)

案1(ホームページ)



案2(パンフレット)



案3(セミナー・講演会等の開催)



### 達成目標

保護者の幼児教育に対する正しい認識の獲得  
 保育所との差別化(幼児教育と保育サービスの違い)

私立幼稚園・認定こども園への関心拡大・入園促進

国や県、自治体へのエビデンスを基にした支援の要望・説明



プロジェクトの継続化

子どもの幸福度アップへの永続的貢献  
 各園の存続(SDGs)

